



栃木県農業大学校 キャンパスガイド 2026



HPはこちらから



【教育方針】 優れた農業経営者等を育成するため、専門性の高い知識、技術や経営管理能力が修得できるよう、栽培や飼養管理及び経営管理等に関する講義・実験と実習の履修時間を概ね50:50の割合で実施しています。また、仲間づくりや責任感・協調性を育むため、農業生産学部1年次を全寮制としています。

農業生産学部

農業総合学科

■作物専攻…水稲・麦・豆類等

・水稲は高密度播種苗栽培など低コスト・省力化技術に取り組むほか、ICT技術として水田センサーを活用した水田管理も行っていきます。

・パンや麺用小麦、もち性大麦、豆類やそばの栽培管理技術を学ぶほか、収穫物の加工についても取り組んでいます。

■露地野菜専攻…ねぎ・たまねぎ等

・機械化一貫体系による玉ねぎ、ねぎを中心に季節の露地野菜の栽培管理技術を学びます。

・ICTなどを活用した効率的な栽培技術や環境に配慮した栽培方法の検討なども行っていきます。

■施設野菜専攻…いちご・トマト等

・いちごは「とちあいか」「スカイベリー」「とちおとめ」など、県の開発した品種を取り入れ、様々な栽培方法（土耕・高設等）での栽培技術を学んでいます。

・トマトは次世代型最先端（高軒高）ハウスで土耕栽培による促成長期栽培と、一般的なハウスで養液（ロックワール）栽培による冬春トマト栽培を行っています。

■花き専攻…シクラメン・あじさい等の鉢もの、きく・カーネーション、ゆり等の切り花

・鉢ものや切り花、花壇用苗ものを中心として、様々な花き類の生理生態や生育ステージに応じた管理方法を学びます。

・洋ラン温室に省エネルギー対策として「地中熱ヒートポンプシステム」を導入しています。

■果樹専攻…なし・ぶどう・りんご等

・なしはグローバルGAP認証を取得しており、他の果樹についてもこの認証基準を守って生産しているため、輸出にも対応できる国際水準レベルの生産工程管理を学ぶことができます。

・なしやぶどうでは本県が開発した盛土式根圏制御栽培を学ぶことができます。

畜産学科

■酪農・肉用牛

・ICTを駆使したドリーム牛舎を活用して、乳用牛・肉用牛の飼養管理や飼料作物栽培など魅力的な畜産経営を学んでいます。

・家畜人工授精師(牛)の資格取得を目指すことができます。



農業経営学部

いちご学科

いちごの産出額及び生産量日本一を誇る「いちご王国」栃木県の優れた技術と高い経営能力を持ち、将来地域のリーダーとなるいちご経営者を目指す農業者育成のため、ICT活用による最先端のいちご栽培技術や経営者に求められる知識の習得、先進的いちご農家での実践的な実習等、最新の栽培技術と知識を学びます。



【各学科共通】

■ICT技術を駆使したスマート農業を実践するための知識・技術を修得します。

■GAP（農業生産工程管理）やとちぎグリーン農業（減化学肥料・減化学農薬等）についての知識・実践力を修得します。

■作物の生理・生態的特性や栽培環境を理解し、栽培技術及び経営管理の為の知識・技術を修得します。

■作物の生産性を考慮した土壌及び肥料の知識を修得します。

■食品の安全性や農畜産物の加工法・保存法などの知識を修得します。

■農畜産物のマーケティング等に関する知識を修得します。

■農業機械の安全・効率利用に関する知識・技術を修得します。

■自ら生産した農畜産物の加工までを学習し、6次産業化に対応できるための知識・技術を修得します。



研 修 科

【研修方針】

農業の担い手を目指す意欲のある者を対象として、農業経営に必要な基礎知識や専門的な栽培技術の研修を行います。また、農業機械の技術者養成のための研修を行います。

■就農準備校「とちぎ農業未来塾」

農業経営に必要な基礎的知識や専門的な栽培技術の研修

- 就農準備基礎研修
- 就農準備専門研修I・II

■農業機械研修

農業機械を計画的・効率的かつ安全に利用できる技能者を養成するための研修
（前期）農業機械士の資格取得 （後期）けん引免許を取得



Let's study!



Let's study!



「ちょっと未来の米づくり」 床井 綾真 (写真左)

作物専攻

近年、肥料の高騰が課題となる中、私はスマート農業を活用した省力化やコスト削減について学んでいます。卒論研究では、衛星画像で表現される生育データを用い、水稻の状態に合わせてドローンで追肥を行いました。収量や品質が安定するかを調べるとともに、従来の追肥作業と比べてどれだけ労力が減らせるかも検討しました。

将来の就農に向けて、実際に自分の手で作物を育てながら最新の技術を試せることが、本校の大きな魅力です。

次世代型園芸人材育成施設

「園芸大国とちぎづくり」の一翼を担う意欲ある人材の育成を図るため、先端技術を用いた園芸の育苗施設をはじめ、機械化一貫体系による露地野菜の生産を実践的に学ぶことができる教育環境を整備しています。



「花の基礎知識を学ぶために」 三村紗友里 花き専攻

私は普通科高校出身の非農家で、花の栽培を一から学びたいと思い農業大学校花き専攻に入学しました。

花き専攻では座学と実習をととして花き栽培の基礎知識や技術を学んでいます。課題研究では自分の学びたい品目を選ぶことができ、鉢ものあじさいやシクラメンの栽培に取り組んでいます。

実際の花き生産の現場で研修などの先進的な技術や経営についても学ぶことができ、充実した日々を送ることができます。



「いちご経営者への道～幸せいちごを届けたい～」

小林 洋平 いちご学科

私は、自分で育てた美味しいいちごで多くの人に幸せを届けたいという思いから、いちご学科に入学しました。授業では、栽培技術に加え、パイプハウスの建設や経営学など幅広く学んでいます。また、大規模経営や6次産業化など多様な農家を視察し、経営者の方々の話を直接聞くことで知識と視野が広がりました。これらの経験は非常に刺激的で、農業経営の夢をより強くしてくれました。

これからも、仲間とともに学校生活を楽しみながら、夢の実現に向けて準備を進めたいと思います。

「自分で育てる喜び」 松本 悠大 露地野菜専攻

私の学ぶ露地野菜専攻では機械化一貫体系による玉ねぎ・ねぎの栽培管理技術を中心に、季節の露地野菜の栽培管理を学んだり、環境に優しい栽培方法に取り組んだりしています。

課題研究では、男女関係なく、自分で種をまき、苗を育て、ほ場準備なども行い、定植後はそのほ場の除草や病虫害防除などの管理作業を自主的に行って、収穫までを一貫して体験することができます。それが農業大学校ならではの最大の魅力です。



ドリ

ドロー
・フリー
・ICT機
個人の
・飼料

次世代型トマトハウス(高軒高)ハウス

高軒高ハウスは、ハイワイヤー栽培によるトマトの促成長期栽培が可能で、高収量が見込める先進的なハウスです。

ICT技術を活用した複合環境制御やスマートフォン等による栽培環境データの把握も可能で、学生・研修生は先進的な栽培技術を学ぶことができます。



「専攻実習で実践的な栽培経験が積めます」

鶴見 明樹

施設野菜専攻

施設野菜専攻では、トマトといちごの栽培方法や管理技術が学べます。私の家はトマト農家で、私は将来、トマト農家の後継者となるべく、日々トマトの栽培管理や病害虫管理、出荷調整などの実践的スキルを身に付ける努力をしています。

トマトの収量や品質を向上させるには、日射量や温度の変化に対応して葉面積や着果数をコントロールすることが大切になります。そこで私は、年内に脇芽を利用して枝数を増やし、春までに葉面積と着果数を増やす栽培技術の効果について研究しています。この経験を、就農後のトマト経営に活かせるように努力します。

「学びと体験の楽しさ」

篠原 香

(写真右から2人目)

果樹専攻

私は普通高校出身で、最初は農業高校出身の同級生との知識の差に不安があり、ついていけないと思っていました。しかし講義や実習を通して基礎的な知識と技術を学び、学生同士協力し合いながら実習を行うことで、より実践的な技術も身につけることができました。

果樹専攻ではナシとブドウを中心とした様々な果樹の栽培管理を学んでいます。覚えることも多いですが、その分多くの体験ができとても楽しいです。果樹園には根圏制御栽培などの最新の技術も体験できるため、充実した実習を行うことができます。

牛舎での飼育管理

Let's study!



「たくさんの人に牛の魅力を伝えたい!!」

清水 小春

畜産学科

私は東京の生まれ育ちですが、幼少期に観光牧場で触れあったことがきっかけで、牛に興味を持つようになりました。そして、畜産の魅力を伝えられる人になりたい!と農業高校に進み、栃木県の農業大学校に進学しました。農大では乳牛や肉用牛の管理、衛生対策など、畜産に関する幅広い内容を学んでいます。また、講義や実習を通じて、命を育てる責任の重さを実感しています。

卒業後は観光牧場で働き、牛に囲まれながら、もっと畜産を身近に感じてもらえるような存在になりたいと思っています。そして、牛の魅力を多くの人に伝えていくことが、私の夢です。

牛舎の施設概要

リーストール牛舎 ・milking parlor方式の搾乳施設
「機器:養牛カメラ(監視)、牛温計(分娩管理)、牛歩(発情管理)、
本の管理状況をスマホやパソコンに通知するシステム
料用トウモロコシの播種からサイレージ調製機械の整備

特典および資格取得

1. 専門士

卒業生には、「専門士(農業専門課程)」の称号が付与されるほか、人事院規則では「短大二卒」相当とみなされます。

2. 大学編入

卒業見込者は、4年制大学の3年次への編入学の受験資格が得られます。

3. 資格取得

次の資格免許取得支援のための授業を行います。

全 学 科 共 通 >>> ●農業機械士 ●大型特殊(農耕車)免許 ●けん引(農耕車)免許
●刈払機取扱作業者

畜 産 学 科 >>> ●家畜人工授精師

資格取得教養講座 >>> ●毒物劇物取扱者(一般・農業用品目) ●危険物取扱者(乙種第4類・丙種)
●日本語ワープロ検定(日検2級~4級) ●文書デザイン検定(日検2級~3級)
●情報処理技能検定(日検3級~4級) ●簿記(日商簿記検定3~4級)

校外受講の斡旋 >>> ●フォークリフト運転 ●ガス溶接 ●アーク溶接等
●車両系建設機械(整地等)運転

経費等

- 入 学 金 5,650円
- 授 業 料 年額 124,800円
- その他の経費 教科書代、校外学習費、寮生食費(1年)、学生自治会費、後援会費等(学部学科により該当しない経費も含まれています。)
1年 年間 約 450,000円 2年 年間 約 110,000円
- そ の 他 ・本校在校生は、日本学生支援機構の奨学金が利用できます。

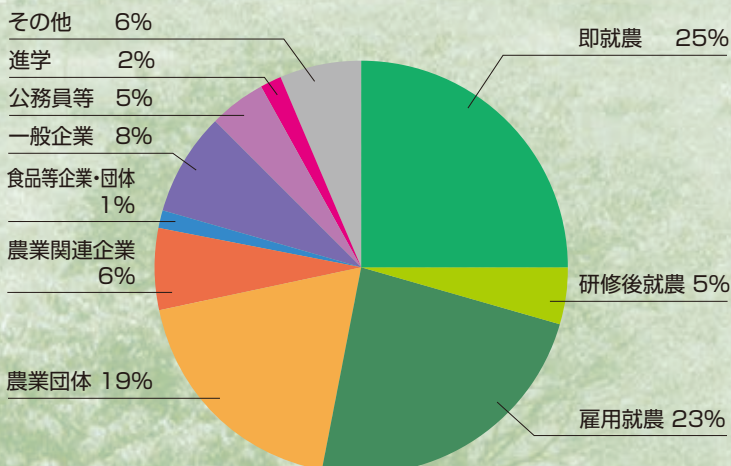
①給付型奨学金(返済不要) ②貸与型奨学金(無利子・有利子)

※①の給付型の採用を受けた学生や多子世帯は、授業料等の免除が受けられます。

・本校は、栃木県が認める新規就農者育成総合対策(就農準備資金)の研修機関であり、本校在校生のうち、新規就農希望者(雇用就農を含む)で一定の要件を満たす者は、最長2年間、原則、年間最大150万円の給付対象となります。

令和7年度卒業生の進路

(2026.3.6現在)



[主な雇用就農先]

(株)さとうふあーむ グリーンファームしもつけ
(株)菅谷農産 (株)いちごの里 (有)グランベリー大地
海老原ファーム (株)関東フーズ 八千代ファーム
葛生農場(株) JUST Fruits (株)全農ビジネスサポート
大木牧場 ホウライ(株) JA全農南那須牧場
森永酪農販売(株)

[農業関連団体・企業・公務員等就職先]

JAうつのみや JAかみつが JAなす南 JAおやま
JAグリーンとちぎ (株)JAエルサポート JA全農農機センター
JA全農種苗センター 酪農とちぎ農業協同組合
ヤンマーアグリジャパン(株) 関東甲信クボタ
栃木県酪農協同組合ヘルパー利用組合 農研機構
(独法)家畜改良センター

(順不同)

女子寮

寮生の1日

※入寮は原則として
農業生産学部1年次のみです。

7:00 起床

8:00 朝食

8:30 登校

1~2時限目

12:10 昼食

3~4時限目

16:30 サークル活動

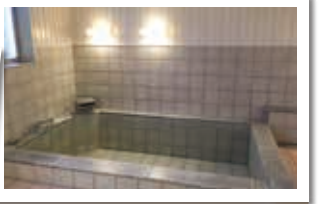
18:00 夕食

19:00 入浴・自習

22:00 点呼

23:00 消灯就寝

男子寮



Campus Life



- 4月 入学式
 - ↳ 春季校内スポーツ大会
- 6月 オープンキャンパス
 - ↳ 期末試験(前期)
- 8月 夏期休暇
 - ↳ 1年先進的経営体実習
 - ↳ 第1回いちご学科入試
- 10月 校内意見発表会
 - ↳ 推薦入試 農大祭
- 12月 第2回いちご学科入試
 - ↳ 一般前期入試 卒論発表会
 - ↳ 期末試験(後期)
- 2月 一般後期入試 第3回いちご学科入試
 - ↳ 卒業式



実習風景



農大祭



スポーツ大会



オープンキャンパス

栃木県農業大学校 〒321-3233 栃木県宇都宮市上籠谷町1145-1
TEL 028-667-0711(代)

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g63/index.html> E-mail:nougyou-dai@pref.tochigi.lg.jp



〔関東バス〕

・JR宇都宮駅西口14番のりば
益子駅前行き
真岡営業所行き(橋場経由のみ)



〔車〕

・JR宇都宮駅東口から30分
・宇都宮上三川ICから20分
・真岡ICから15分



〔LRT〕

・「清陵高校前」下車 徒歩20分

